



Rosso
SCUDERIA
中古車販売・中古車買取・一般整備・車検・板金・塗装
TEL 04-7100-8844

お客様を中心に中古車の販売、整備、車検などを担当する「Rosso SCUDERIA」。レース車両などの取り扱いもできるなど、アクションが多数ある。



04

ガレージありきの住宅設計、
クルマを中心とした2世帯住宅。
千葉県 A邸

千葉県我孫子市の近郊住宅街。「住友林業」でオーダー設計したガレージハウスはAさんが思い描いていたガレージのスペースを実現。ガレージを見渡せる趣味のスペースには奥様が奏でるグランドピアノがあり、主はクルマの整備、奥様はピアノと家族が調和できるスペースを共有することになった

Photo/Masaya-ABE(阿部昌也) Text/kan-ISHIHARA(石原 淳)
取材協力/ロッソスクーデリア Phone/0471-00-8844
<http://www.rosso-scuderia.jp>

04

ガレージを見渡すことができる部屋には、ピアノとオーディオが完備され防音を重視。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M&A

ホワイトを基調とした趣味部屋には、Aさんが趣味でコレクションしたフェラーリグッズやイラストが展示され訪られる。



今回、導入されたEG WAY OUT(セーフティライフ <http://www.safety-l.com>)は、モーター本体を特別色でオーダー。フェラーリのボディカラーと車号が入った特別なものに仕上げてもらった。



壁面ディスプレイに展示する車両からカメラ越しに撮影し、お客様がご覧いただけるように工夫された。

約97坪という広大な広さの敷地に、分離した2世帯住宅を建てたのは自営業を営んでいるAさん。若いころは、海外でF3などのフォーミュラレースにも参戦したこともあり、SUPER GTやラリーにも友人の応援に足を運ぶ根っからのクルマ好きの1人。いつしかクルマはスーパーカーに興味を持ちはじめ、クルマを購入したときにはガレージを建てたいと考えていた。今回、ガレージを建てることになった大きな要因はAさん自身の結婚。結婚を機にご実家の平屋の旧家を取り壊し、「住友林業」にて設計、クルマの整備ができるガレージハウスを建てると

いう念願の夢を実現することになった。

住宅メーカーに依頼したのは大きな開口を通り、クルマをなるべく多くガレージに収納すること。そしてガレージを眺められるポジションに趣味の空間を設置すること。メーカー側は強度の問題からガレージに筋交いを入れる提案だったが、Aさんがガレージの利便性を考えて最大限大きな開口部の空間にしている。そして電動の文化シャッター製スチールシャッターとリフトはAさんの指定。それは「ロッソスクーデリア」という自動車整備、販売を行ううえでの必需品としてガレージに導入したものの

シャッターは大車なクルマを守るほか、ランサーのオフ車の足まわりの組み付けや、調整を行うためのガレージの使い方だ。

壁面にディスプレイされたサインの数々は、Aさんが今までにレース場に足を運んで手に入れたサインや、友人レーサーのサイン。じつは、段ボールに収まるほどのサインを所有しており「時がたてば額装されたサインは交換ができるように工夫しました」とAさん。スポットライトによりサインをクローズアップするなどライティングを工夫している。もちろんクルマの整備には蛍光灯を使うなど使い分けをしているそうだ。そし

04 PLANNING DATA & MATERIALS

油圧式のリフトを入れることで、整備性を重視したガレージに。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M/A

でシャッターを閉めてクルマの整備中に必需品だったEG WAY OUTが2011年秋に導入された。

EG WAYOUTとは昨年発売された排気ガス排出システム。低価格で安心、安全、快適なガレージ空間の実現のために商品開発を行い、家庭用100V電源で使用できる排気ガスを簡単に屋外に排出する装置。Aさんは今までガレージシャッターを開けたり、換気扇で排気ガスを排出していたがプライバシーの面で不安を感じていたため、どうしても排気ガスの排出システムを導入したいとガレージの壁面に穴をあけて導入の準備はしていた。しかし高額

だったため導入を延期していたところ、友人から昨年発売になった新製品のことを知り、購入にいたったという。AさんはEG WAYOUTの導入後、「時間に関係なくエンジンの調整ができるほか、プライバシーも守れるので夢がかないました」という。専用アタッチメントも導入したことで排気ガスの漏れはほとんどないという。

仕事を終えて、帰宅すると趣味のスペースで奥様がピアノを奏でるA邸。ピアノの部屋でもありながら、Aさんのコレクションがディスプレイされるなど、今ではなくてはならない部屋の存在になったという。ガレ

ジができた当時は、お酒を飲みながら趣味の部屋にいたることが多かったAさん。「やや高いところから自分のクルマの姿を見るのも悪くはない」とガレージには大満足の様子。Aさんは、趣味でランサー・エボリューションでオフロードを走ったり、オンロードはモテナをドライブするなど目的に合わせて乗り分けをしている。現在2歳になる息子に、スーパーカーのペダルカーに乗せるなど将来クルマ好きになるために英才教育中。最近では育児に忙しく、休日にガレージで作業は少なくなったというが、家族で趣味を満喫するAファミリーにとってガレージライフはつねに継続中だ。



ガレージの壁面は大工さんにお願ひしてフックが施されるように工夫。縦面にそろった角度はAさんのこだわりの1つでもある。



1. 段ボールに収納されていた各ドライバーのサインを額装してガレージにディスプレイ。時によっては入れ替えられるようになっている。
2. 趣味の部屋にディスプレイされたコレクション。ヘルメットも見事に収まったが、これは計算をしてオーダーを出した。
3. 母屋のトイレはフェラーリとは異なるテーマ・マクラーレン・メルセデスのグッズをディスプレイ。まさにコレクションの宝庫だ。



ガレージの天井には電気が稼げるように、施工時からJBLのスピーカーが埋め込まれた。ライトもスポットライトのシーリングランプで使い分けしている。



クルマの洗車時に重宝するガレージに設置された水道。エアコンプレッサーも収納されるなどスペースを有効活用している。

P PLANNING DATA
所在地 ●千葉県
施主 ●Aさん
竣工 ●2008年3月
構造 ●木造軸組仕上
ガレージ面積 ●約36㎡ (約10坪)
愛車 ●2000年フェラーリ・F360 モデナ
三菱・ランサーエボリューションRS

O OWNER'S CHECK
■一番気に入っているところは？
ガレージを建てる前からコツコツとコレクションしていたオートモビリアが思い描いたところに飾ることができたこと。
■ちょっと失敗したところは？
換気扇がやや小さかったことでコンパクトだったことと、水回りをガレージの外にも設置してクルマを洗うことを考慮すればよかった。換気扇は上下にして、タイマーがあればよかったですね。
■次の事はなんですか？
ガレージに2台入れて手狭になったため、ガレージの拡張をしたい。
■読者へのアドバイス！
排気ダクトのホースはメーカーによって曲がらなかったり、太さも異なるので、取り回しのスペースを確認して導入をおすすめします。



Snap On製ツールボックスのほか、頻繁に使う工具は棚に用意される。ラックをうまく使い、ガレージのスペースを効率よく使いこなしていることが分かる。

